

HIRO DANCE COMPANY (SINCE2000)

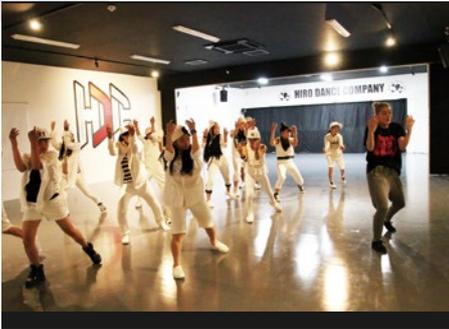
MIKIの母親である廣岡祐美子氏が代表を務めるダンススクール。羽曳野を拠点にレッスンやワークショップを展開する。今年6月、西浦に新スタジオがオープン。
(下写真：新スタジオ)



going my way!

MIKI (24) 本名：廣岡 美紀

羽曳野市出身（埴生南小→河原城中）
2011年より上京。安室奈美恵、JYJなど数々のアーティストにつき、ダンサーとして活躍



ダンスは自由に表現できる世界

4歳の頃から体操競技で五輪を目指し、ハードな練習の毎日を送ってました。しかし、小学3年生の春に髄膜炎を患い、長期治療が必要になり体操をやめました。約1年後、体調も徐々に回復し、母の影響でダンスを始めました。体操と違いダンスは、誰にもジャッジされず、自分を自由に表現できる場所でした。

転機は18歳、母の勧めで初めて受けた東京でのオーディションに合格。数千人から選ばれ、アイドルグループ『JYJ』のライブツアーに参加しました。このツアー後、活躍したいという思いが高まり、上京しました。現在は安室奈美恵さんのツアーダンサーとして活動する傍ら、CMやイベントに出演しています。

厳しい現実、自己責任の世界

ダンスは動きが激しいので、けがの危険が伴います。練習中、足首の靭帯を断裂しました。約1か月間はギプスの固定が必要でしたが、スケジュールの関係で3週間後にはPV撮影のためロサンゼルスに渡り、テーピングを巻き、ハイヒールを履いて踊りました。怪我を予防するためのトレーニングはかせません。

リハーサル期間は休日がなく、長い日は10時間以上踊り続けます。コンディションを整えるため、水とハチミツで5日間過ごしたこともあります。体力や気力の維持はなかなか厳しいですが、それでも、踊ることが大好きなので楽しいです。

教えるではなく、伝える！

インストラクターとしても活動しています。生徒たちがコンテストに入賞したり、オーディションに合格したり、成長する姿にワクワクします。心がけているのは、生徒の感性を尊重すること。自分がいいと思ったものを信じる。そんなダンサーに育てたいです。

夢は、プロダンサーになった卒業生と一緒にステージに立つこと。そして、生まれ育った羽曳野で、ダンスの楽しさを、たくさんの人たちに伝えていきたいです。そのためにも、まず自分が前に進まない。今はまだ通過点。もっと経験を積み、「HIRO DANCE COMPANYはMIKIに任せたい」と思ってもらえるような存在になりたいです。

『踊れるまち、はびきの』



by 廣岡 祐美子 (HDC 代表)

駒ヶ谷などで開催されている『はびきの軽トラ市』では、MIKIが振り付けたナンバーを子どもたちが踊っています。実は内緒ですが、(仮称)『つばたんエクササイズ』を考案中。近々、皆さんにお披露目します。このダンスはお子さんから高齢者の方まで、楽しく笑顔で身体を動かしていただけたらと思っています。羽曳野市をダンスで元気に、楽しく、活気的な街に出来るよう微力ですが、貢献していきたいと思ひます。

・・・編・集・後・記・・・

日本を代表するダンサー MIKI さん。踊る姿からは想像できないが、休日は、ぼーっと過ごすことが多いという。帰郷時、必ず大好きな『かすうどん』を食べ、充電すること。今回、掲載した以外にも、舞台上がるまでのお話は、想像を超えるものばかりでした。(広報担当・藤野)